

1. 科目名 (単位数)	専門演習 (2単位)	3. 科目番号	EDOT4198
2. 授業担当教員	チームティーチング		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	3年間履修してきたことを基礎として、選択することが望ましい。		
7. 講義概要	授業の概要は、各教員がすでに示している内容による。		
8. 学習目標	最終学年としてこれまでの授業や実習等で学んだことをもとに、各自が理論的あるいは実践的な課題を設定して担当教員の指導も受けながら自主的、主体的に取り組みその成果をまとめる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各担当教員による。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 各担当教員の指示による。 【参考書】 各担当教員の指示による。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	各担当教員が示す。		
12. 受講生へのメッセージ	最終学年として大学生活を締めくくることが自覚して授業に取り組むこと。		
13. オフィスアワー	各担当教員が設定する。		
14. 授業展開及び授業内容			
01	浅沼 茂		
<p>本演習では、小学校・中学校における総合的学習の時間のあり方について具体例をもって研究します。総合的学習は、日本独自のものではなく、アメリカがその主な起源です。日本での発展も世界に誇るべきものがあります。それでは、どのような実践が展開されてきたのかを事例を基に探究して行きます。その内容は、多岐にわたり、理論も多様です。使う題材は、文献だけでなく、ビデオなど、他のメディアも用います。受講生自らがそれらを調べ、研究発表し、皆でディスカッションしながら、研鑽を深めてゆきたいと思います。研究レポートを重視します。</p>			
02	阿部 裕子		
<p>本演習では、教育現場で生じている様々な問題について、「比較教育学」の視点から分析・検討を行う。演習の前半では文献研究を通して、「比較教育学」が取り上げてきた諸問題やその視座について理解を深める。演習の後半は受講生それぞれが興味関心のある題材を取り上げ、調査・研究を行い発表する。発表された各題材は受講生全員による討議によりさらに深く掘り下げ考察される。最後に各人が取り組んだ比較教育的分析をレポートにまとめる。</p> <p>本演習は受講生の主体的活動が前提となっている。具体的には、指定された課題を予め完了した上で演習に参加し、演習ではペアワーク・グループ討議に積極的に参加することが強く望まれる。</p> <p>これまでに経験した「教育」現場、例えば自らの学校教育体験、教育実習、アルバイトやボランティア、家庭や地域において感じてきた諸問題について、より深く分析し理解しようとする意欲のある学生の参加を希望する。</p>			
03	石垣 久美子		
<p>本演習は、深刻化する児童生徒の心身の健康問題や、養護教諭の職務に関する文献研究を通し、養護教諭としての教育実践に役立つ具体的提言を導き出すことを目標とする。各自関心のある課題を設定し、関連研究論文等を調べ、考察したことを15分程度にまとめて発表する。持ち寄った話題については受講者全員でディスカッションを行い、各自の見識を深めていく。発表は一人当たり2回を予定している。なお受講者は、養護教諭免許取得予定者であることが望ましい。</p>			
04	片岡 浩		
<p>図画工作科指導法 実技体験によって教科指導法を体験的に理解することを目的とする。</p> <p>【課題】誰でも描ける手のデッサン</p> <p>集中講義でデッサンの指導を行います。誰でもうまく描けるように段階的に指導します。授業当日に下記の材料・道具を準備してください。</p> <p>必要な材料・道具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆 (4B・2B・HB) ・消しゴム (持っている人は練り消しゴムも。無くてもいいです) ・カッターナイフ ・画用紙 A4 か八つ切り×1 セット (100均) あるいは授業で購入したスケッチブック ・サインペンかマジック (太) ・ダンボール 1 枚※折り目のない部分 (画用紙より一回り大きいサイズ。画用紙を貼り付けてパネル代わりに使います。) 持っている人は A3 パネルでも良いです。</li> </ul>			
05	坂井 二郎		
<p>本専門演習では、「人間のコミュニケーション」について多角的に学んでいく。具体的には、人間のコミュニケーションを形成している諸要因についてまず考えコミュニケーションのモデルについて学ぶ。次に教育の場面を含む様々な場面における人間のコミュニケーションについて考察する。そして最後に授業で扱った「コミュニケーション」に関し、各自で調査しさらに考察を深め期末レポートを作成しその成果を発表する。以上の流れで、コミュニケーションの基本的知見を育み、受講者の興味に応じた人間のコミュニケーションの考察を本専門演習では主な目的とする。</p> <p>授業では、前週に次週の課題を提示し、受講者はその課題を完了し授業に参加することを前提とする。また、授業は講義の部分もあるが、基本的にはグループ討議と発表に重きを置き、学生が自主的かつ積極的参加をすることが強く望まれる。</p>			

06	坂本 史生
<p>本演習は、「あそび」をキーワードに「まなび」への考えや理解を深めることを目的としています。関連論文や書籍等の文献研究、「あそび」の理論を取り入れた実践計画を各人が立て、実際にあそびの実践を行うことなどを通して、「あそび」とは何かについて考えを深めるとともに、教育における「あそび」の意義について考察します。特に「あそび」の視点から「まなび」を捉え直すことで、「まなび」の質を高めることに視点を置いて進めていきたいと考えています。特に体育科や生活科を中心として「子ども主体の授業づくり」や「子どもの興味関心に基づくまなび」などに課題意識がある学生及び教員免許を取得予定または子どもとかわることに関心が高く、様々な活動に意欲的に取り組むことができる学生を希望します。(あそびの実践などの際には集中講義とする場合もあります。)</p>	
07	佐野 あゆみ
<p>本演習はギリシャ神話、戯曲、小説、映画、ドラマなどから①人間の本能や感情、②慣習や社会情勢について考察する。作品中の登場人物を観察し、表出された感情や本能について、社会情勢や慣習を表現している場面等を探し考察・発表・討論する。これらを通して人間の本質や他国・他者との共通点と差異を知り、多文化への理解を深める。</p> <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各週、指定された作品を全員が鑑賞する。</li> <li>2. 感想を発表する。または与えられた課題を意識しながら鑑賞し、その課題について討論する。</li> <li>3. 作品の解説を行う。</li> </ol> <p>・3のために講義で扱う作品は必ず事前に鑑賞する必要がある。また、作品解説は教員が行う場合と学生が行う場合（個別発表）がある。</p>	
08	篠 大輔
<p>本演習は道徳教育に関して研究・検討を行う。演習の前半は道徳教育に関する文献・論文を講読し、道徳教育の理論や道徳教育をめぐる近年の動向について理解を深める。演習の後半は受講生が関心のある道徳教育のテーマ・題材について調査・研究を行い、道徳の指導案を作成し、それに基づいて模擬授業を行う。(教職を志望しない者は代替課題として自ら研究した内容のプレゼンテーションを行う。) 現行の学習指導要領から道徳が教科化され、新たな道徳教育のあり方が模索されている。受講生とともに新たな時代に適した道徳教育について追究していきたい。</p>	
09	澁井 とし子
<p>本演習では、どのようにしたら楽しく興味をもって児童・生徒が授業に臨むことができるのか、学習者の「動機づけ」について考えることを目的とする。また、新学習指導要領の「主体的に学習に取り組む態度」、或いは「学びに向かう力」の育成についても深めていく。前半は今まで皆さんが受けてきた授業を振り返る。その後第二言語習得に関する文献を参考に内発的動機づけや外発的動機づけ、学習者要因や学習環境等についての理解を深める。後半は、各自が興味のある教科の授業文献を探し、動機づけされる授業内容の発表、討論を行う。クラスで共有した文献に基づき、どのようにすると児童・生徒が意欲的に学ぶことができるのかを考察し、終盤には新たに各自が考えた授業内容を発表する。</p> <p>教員による一方向の授業ではないため、新たなことを調べたり、積極的に意見交換をしたりするなど、自ら行動できる学生を期待する。</p>	
10	丹 洋一
<p>(目標)          数学教育の題材を通して、教員として必要な資質と能力を身に付ける。</p> <p>(内容)          本演習では、主として小学校における数学教育について扱います。前半は教員採用試験に向けた学習会を中心に行います。後半は、グループ別による算数の教材研究を行います。</p> <p>前半の勉強会については、受講生が自主的に学び合いの学習会を行い、必要に応じて教員が援助・指導を行います。</p> <p>後半の教材研究については、小中学校を一貫した数学教育の教材や ICT を利用した教材（プログラミングを含む）など、受講生が興味を持つ題材を選んで研究し、その成果を発表し合います。</p> <p>(受講条件)          意欲的な学習を望みます。基本的な PC 利用（ワード・Excel・パワーポイント・メールの添付）ができることは必須になります。</p>	
11	二村 泰弘
<p>本演習では、小学校における理科教育を広く扱う。前半は教員採用試験に向けた勉強会を中心に、後半はグループ別による理科の教材研究を進める。勉強会については、受講生が自主的に学習を行い、質問がある場合など、必要に応じて教員が指導を行う。教材研究については、小学校の単元から受講生が興味のある題材を選び、その成果を発表することで、研究力の習得・向上を図る。意欲的な受講生を望む。</p>	
12	古田 高史
<p>本演習では、日本文学や日本文化について、受講生自身が具体的な課題を設定し、先行研究などを踏まえながら、論文や授業案を作成することを目標とする。</p> <p>『万葉集』、『源氏物語』などの古典から、夏目漱石、芥川龍之介などの近代文学、そして、村上春樹をはじめとする現代文学まで様々な作品について、作品研究やオリジナルと受容の研究、比較研究や文化研究、翻訳研究、教材研究など多様なアプローチが考えられる。</p> <p>授業では、各自が選んだ具体的な作品について発表し、受講生同士で議論する。議論を重ねる中で、各自の課題を仕上げていく。作品と真摯に向き合う姿勢の養成のため、発表者以外の学生も、発表者により、指定された範囲の作品については、予め読んだ上で参加してほしい。</p> <p>本演習を通じて、それぞれの興味・関心から選んだ研究テーマを今後のキャリアにどのように活かしていくのかも考えていきたい。</p>	

1 3	別府 結起
<p>本年度の専門演習は、英語教育一般に関する考察及び TOEIC 対策演習の集中講義（夏期休講期間後の補講日及び期末試験期間に 2 時限続けて授業）とする。自分の興味のある内容についてのパワーポイントを使用した発表が必須となる。TOEIC は過去問題を使用し、実際の問題を解くことで中高等学校の英語教諭が求められる 800 点をを目指す。また小学校や特別支援学校の教諭を目指す学生、一般企業に就職希望の学生も英語力の維持・向上のために受講することは可。TOEIC の学習を通してリスニングを中心とし問題に含まれる文法も同時に学習して行く。読解の部分は宿題として毎週進めて行く。受講条件として、英語コミュニケーションを履修したことのある学生の受講が望ましい。必修であることを理解していること。また受講期間中または受講後に TOEIC を受験すること。受講後に TOEIC の点を提出すること（必須）。</p>	
1 4	松浦 康世
<p>本演習の前半では、ベストセラー小説を取り上げ、主題、ストーリーの展開、レトリックなどの視点から、作品の魅力を分析し、書評を書く練習を行う。後半は、執筆技巧の知識を活かして短編小説を書き、クラス内で鑑賞し合う。書評 1 つと短編小説 1 つの提出を単位取得の要件とする。</p> <p>文部科学省の 2016 年度調査では、読書活動が子どもの論理的思考だけでなく、意欲や関心、ひいては人間関係にまで良い影響を与えることが報告されている。小説の味わい方を学び、その魅力を伝えられる豊かな表現力を身に付けるとともに、児童生徒の読書活動を推進するための想像力を養うことが本演習の目的である。</p> <p>講座では様々な作品に触れる機会があるため、受講に際しては、電子書籍または紙媒体の書籍が自由に入手できる環境にあることが望ましい。</p>	